



未来のいばらきを支える大動脈

人とモノの行き交う四本の高速道路

3月6日開通!!



女性特派員：飯田里美

いばらきの大動脈とも言うべき、県内の4本の高速道路。常磐道・北関道は県内全区間が開通し、東関道水戸線・圏央道も着々と整備が進んでいます。茨城の発展に欠かせない、県内の高速道路の現状をレポートします。

詳しくは 検索



「人」や「物」の活発な
交流を支える高速道路

●本県の四本の高速道路

現在、茨城県内には常磐自動車道（常磐道）・北関東自動車道（北関道）・東関東自動車道水戸線（東関道水戸線）・首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の四本の高速道路があります。一昨年には、北関道の県内全区間が開通し、一般道の渋滞緩和や移動時間の短縮などにより、物流の円滑化や本県の観光客数の増加といった効果をもたらしています。

また、三月六日には、東関道水戸線の茨城町ジャンクションと茨城空港北インターチェンジが開通します。これにより、三月十一日に開港する茨城空港への県内外からのアクセスが向上することになります。



県内の4本の高速道路の現状を説明してもらいました

●高速道路の役割を考えよう

昨年度より導入されたETCの休

茨城空港

2010年3月11日開港!

アジアナ航空で空の旅

航空業界のノーベル賞ともいわれる「エアライン・オブ・ザ・イヤー」など各賞を受賞し、世界最高水準のサービスを誇るアジアナ航空が、茨城空港開港時から毎日、茨城～ソウル便を運航



します。茨城～ソウル間の約2時間という短い時間でもホットミールを提供するなど、お客さまの心地よい空間づくりに努めているアジアナ航空。開港目前の今年2月には、茨城県開発公社ビル内(水戸市)に茨城支店を開設し、チケットの予約や旅の相談を始めました。茨城支店の李賢洙支店長は「アジアナといえば茨城、茨城といえばアジアナと言われるようになりたい。アジアナ航空をご利用いただくことで、韓国と日本の文化交流を広げていきたい」と語ってくれました。アジアナ航空が、私たちの旅をより快適なものにしてくれることでしよう。

【女性特派員・杉田訓子】
 県空港対策課 ☎029(301)2761 機2749
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kuko/>



第四回

東関東水戸線は、東京都練馬区から水戸市に至る延長約百四十キロメートルの高速道路で、そのうち、既に

●東関東水戸線とは

陸・海・空の広域ネットワークの形成(東関東水戸線)

また、高速道路は、利便性の向上はもとより、大地震などの災害発生時には、緊急輸送路としての役割も果たすことを今回の取材で知ることができました。その中で、現在整備が進む東関東水戸線と圏央道の現状をお伝えします。

日割引との相乗効果で、連休や夏休み期間などの高速道路の利用状況は前年比三割増しとなっているそうです。これを見ても、高速道路は人の交流を盛んにし、地域の活性化に役立っていると言えそうです。

千葉県市川市から潮来市までが開通しています。今後県内においては、潮来インターチェンジから茨城町ジャンクションまでの間が整備される予定になっています。

●東関東水戸線の工事現場を見学

北関東道と接続する茨城町ジャンクションから茨城空港北インターチェンジまでの八・八キロメートル間の工事が三月六日の開通に向け、急ピッチで進められています。

今回、工事の現場を訪ね、安全対策が細部に行き届いていることや、環境や景観に配慮されていることが印象的でした。東日本高速道路(株)関東支社 水戸工事事務所の瀧本副所長は、「安全対策として、路面の舗装を高機能舗装とし、雨天時の水しぶきの低減や高速走行時の安全性の確保を図っています。また、工事現場から発生した樹木をチップ化し、のり面に苗木を植栽する際に活用する緑のリサイクルも行っています」と説明してくれました。

さらに、沿線の近郊農業地域にとっては、首都圏や地方中核都市とのアクセスがよくなり、より付加価値の高い農林水産業の振興が図られます。

●圏央道とは

沿線の地域づくりを活性化(圏央道)

圏央道は、都心からおおよそ半径四十～六十キロメートルの位置に計画されている総延長約三百キロメートルの高規格幹線道路(自動車専用道路)です。現在、県内では常磐自動車道と接続するつくばジャンクションから



茨城空港北IC付近で

ンから稲敷インターチェンジ間の約二十キロメートルが開通しており、四月二十四日には、つくばジャンクションからつくば中央インターチェンジ間も開通する予定です。

●環境と経済発展に効果

圏央道の開通は、首都圏への流入交通の分散化による環境負荷の低減や沿線への企業進出による雇用の増加といった効果が期待されています。昨年夏には、阿見東インターチェンジ直近に「あみプレミアムアウトレット」が開業してにぎわいを見せており、さらにインターチェンジに近接する工業団地には企業が次々と進出しています。高速道路の整備が、近年の不況の打開につながることに期待したいと思っています。

NEWS

東水戸道路(水戸南IC～ひたちなかIC間)が無料化社会実験区間に決定!

国道6号の渋滞緩和や利用者の負担軽減、さらに茨城港の利用促進などが期待されます。(詳しくは左記まで)

県道路建設課 高速道路対策室
 ☎029(301)4439
 機4449